

俳優座劇場開場七〇周年
築地小劇場開場一〇〇周年

俳優座劇場プロデュース No.120

音楽劇 母さん

作　堀江安夫

演出　横山由和
音楽　新垣　雄

美術　石井強司
照明　桜井真澄
音響　藤平美保子
衣裳　久保田実土里
振付　鶴田実土里
宣伝写真　飯田研紀
歌唱指導　新垣雄
舞台監督　泉泰至
演出助手　深堀絵梨
企画制作　ミネマツムツミ
協力　サトウハチロー記念館

かいせつ

『リンゴの唄』『長崎の鐘』『ちいさい秋みつけた』
『悲しくてやりきれない』など、誰もが一度は口ずさんだ
ことのある歌を数多く遺したサトウハチロー。

心に沁みる詩からは想像もつかないほど彼は奔放に
生きた。そして彼の詩に大きな影響を与えた母・春。家族
の間にあつた愛情と確執はハチローの人生を翻弄する。
それでも彼が詩に託した心とは――。

珠玉の愛唱歌に、新垣雄によるオリジナルの曲を加え、
ピアノとバイオリンの生演奏でお贈りする感動の舞台!!

あらすじ

昭和十九年の夏。詩人の八郎は、入隊を望む息子・忠の
反抗的な態度に手を焼いていた。だが八郎もまた少年の頃、
父に反発していたのだった。

放蕩な父・紅緑のため十代半ばで母・春と別居することに
なった八郎は警察沙汰を繰り返し、中学を退学、離島に
送られるはめになる。助けを求める八郎に、為す術もない春。
「なぜ俺がこんな目に遭うんだ。あんたが俺を捨てたからだ。
あんたは冷たい、丸ごと母親失格だ……」すれ違つた思い
のまま、八郎が二十二歳の時に春は世を去ってしまう。
時が経ち、詩集『おかあさん』でベストセラー作家となっ
た八郎だったが……。

2024年5・6月例会

劇団文化座
命どう宝

5月
17日(金) 6:30 玉島
18日(土) 6:00 倉敷
19日(日) 1:00 倉敷

作/杉浦 久幸
演出/鵜山 仁



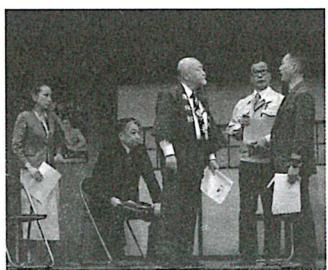
2024年7・8月例会

劇団1980

いちばん
小さな町

7月
14日(日) 6:00 玉島
15日(月祝) 6:00 倉敷
16日(火) 1:00 倉敷

作/瀬戸口 郁
演出/高橋正徳



柴田義之・山本隆世・上野裕子ほか

佐々木愛・白幡大介・藤原章寛ほか